

追想編編集後記

追慕の念は重く大きく、到底一巻の書をもってこれを収容することはできない。これが編集の実際に当たったものたちの共通の実感です。これ

執筆者の数は二百名を越え、この種の追想録としては異例の多きにのぼっておりますが、それでもなお、近しい方々のすべてを網羅することができませんでした。また、いただいた原稿のほとんどが、感懷溢れて、規定の字数を超過しており、やむなく一部を割愛させていただきます。ただかざるをえませんでした。いずれも身を切られる思いであります。

ここに、ご協力賜わった皆さまに厚く感謝いたしますとともに、不行届きや失礼のありましたことを深くお詫び申し上げる次第です。

ただ、私どもの唯一の喜びは、ますます敬愛の念を深くする故大平正芳先生の一年祭の「豊前に、多くの方々の感懷をこめたこの一冊をお供えできること」であります。

唯今、第二巻・第三巻の編集作業が進行中ではありますが、私どもは、第一巻に盛り切るこのできなかつた多くの方々の追慕の気持を、これらの巻の中にできるだけ生かすべく全力をつくしております。

皆さまの一層のご協力ご支援をお願いいたします。

大平正芳回想録 編集委員会